

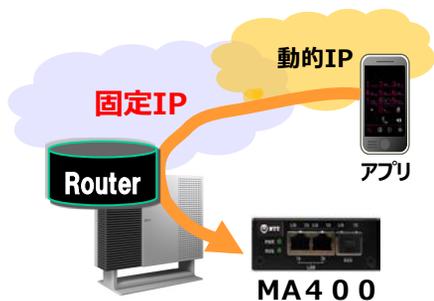
【別紙1】 モバイル内線アダプタの機能拡張について

社外からのアクセス用に、固定IPアドレス契約による運用が必須であったモバイル内線アダプタが、動的IPアドレス契約による運用でも利用可能になりましたので、お客様のニーズに合わせたIPアドレス契約の選択が可能になります。

※利用には別途設定変更工事(有料)が必要です。

概要図

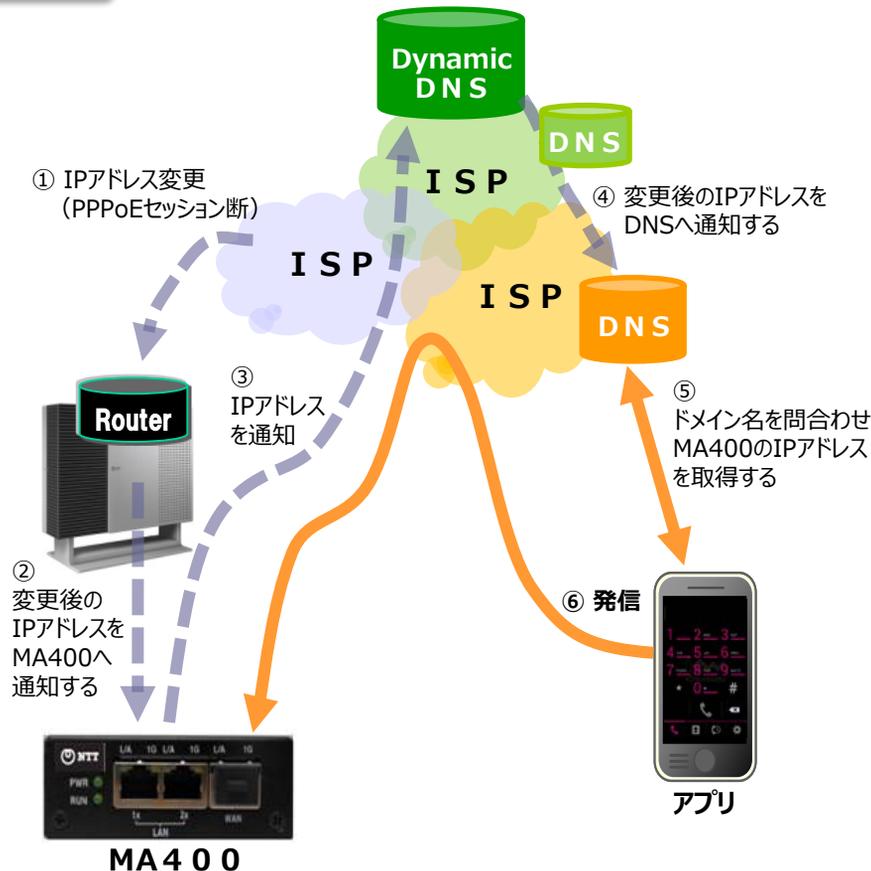
■これまで (~V1.3.0)
社外からのアクセス用に、**固定IPが必須**。



■これから (V1.4.0~)
社外からのアクセス用に、**動的IPでも動作可**。



仕組み



【注意事項】 固定IPアドレス・動的IPアドレス運用による動作差分

動的IPアドレス運用と固定IPアドレス運用では、下記のケースが起こった際、モバイル内線アダプタを利用した通話が可能となるまでの時間が異なります。

安定性を重視するお客様には、固定IPアドレスでの運用がお勧めです。

【ケース①】 ISP側から動的IPアドレスが変更される場合 (ISPごとにタイミングは異なります)

【ケース②】 ルータ (BRU含む) 再起動を行った際や、その他PPPoeセッション切断により動的IPアドレスが変更される場合

アドレス運用形態	上記ケース①、②における、モバイル内線アダプタが使用可能となるまでにかかる時間
固定IPアドレス	1~570秒
動的IPアドレス (DDNS利用)	61~690秒